

平成 25 年度事業計画書

1 基本方針

民主党政権崩壊から自民党政権となり、経済問題をはじめ、従来から積み上げられている多種多様の問題に対し、新しい施策での取組みに大きな期待をしているところではありますが、私たち国民にとっても、問題解消のために背負うリスクの大きさに決して安心した生活の確保を図れる状況とは言えません。

しかしながら、私たちができること、社会福祉として必要とされる事を関係機関の協力や多くの社会資源を活用しながら当協議会の事業として展開してまいります。

社会福祉に対する要望は広範囲にわたり様々ではありますが、当協議会として最大限の努力してまいります。

平成 25 年度におかれましても、当協議会が目指しております「安心して生活できる福祉の町づくり」に貢献できるよう各種事業を進めてまいります。

当協議会職員の 75% を占める介護保険事業及び障害者等福祉サービス事業等につきましては、5 年毎に行われます制度改正（保険料は 3 年毎）に伴い、制度内容に合わせた体制整備をしておりますが、年々厳しいものとなっておりますことから、早い段階から対応策を検討し、迅速に対応できる体制づくりを目指します。

また、職員の資質向上、提供サービスの質の向上等についても職員の重点目標として事業展開してまいります。

当協議会事業の支柱であります地域福祉の推進につきましては、昨年に引き続き、高齢者、障害者等の孤独死や災害活動等に関し、地域として関わりが図れるよう、地域住民や関係機関・団体との連携しながら対応してまいります。

介護保険、障害者福祉サービス事業の補完事業として浦河町から委託を受け実施しております給食サービス、移送サービス、電話サービス等の各事業については、引き続き継続してまいります。

高齢者自立生活支援団体「ポエム」につきましては、これまで町の委託事業であります軽度生活支援事業及び社協訪問介護事業（通院援助）を支援していただきましたが、平成 25 年度より軽度生活支援事業及び町委託事業（移送サービス）の担い手として、これまで同様住民参加型サービス提供の協力をお願いするとともに、会員の増加を図ってまいります。

ボランティア活動につきましては、ボランティアセンターが主管機能として、地域住民（個人・団体）が自主・自立の姿勢で地域の様々なニーズで実践活動できるよう今後も関連団体と連携を図りながら事業継続してまいります。

北海道地域福祉生活支援センターの事業であります日常生活自立支援事業（旧地福祉権利擁護事業）につきましては、平成２６年度には業務を各市町村社協に委託される事が決定しており、受託体制が整備された市町村社協から順次委託契約を行っている状況です。

当協議会も事業受託に向けて準備、体制を図っておりますが、当町は利用者数が多く、支援体制構築にも時間を要すことから、平成２５年１０月１日事業開始予定としており、業務引き継ぎ等早い段階から準備して参ります。

町からの委託事業であります、わかもの就労支援（コンパス）事業におきましては、対象を１０代のわかものとしておりましたが、現状では２０代前半の対象者も含めて事業を行っております。高校卒業（予定）者１名、２０代利用者１名がそれぞれ就職内定及び就労に結び付くまでの結果となり、今後より一層ニーズの掘り起こしをするとともに、ひとりでも多くのわかものが就労に結び付けられるよう関係団体と連携し事業推進してまいります。

現在、当協議会で事務局運営している４団体の業務の他、側面的支援団体も含め、引き続き支援してまいります。

２ 事業計画

（１）法人運営事業

１．会議の開催

① 理 事 会

法人役員として運営、経営全体を統括する組織であり、必要に応じて理事会を開催する。

② 監 査

法人の事業運営及び財産状況等を定期的に監査する。決算監査の他に四半期ごとに定例監査を実施。

③ 評議員会

法人運営業務もしくは財産の状況等について理事等への諮問機関とし、評議員会の権限である予算、決算、基本財産処分、事業計画及び事業報告、定款変更等、評議員会の議決を必要とする場合に会議開催。

④ 職員会議

事務局及び各事業所毎に定期及び必要に応じて会議を開催する。

２．研修計画の策定

年度毎に研修計画の策定し、各種研修会への参加及び職場内研修を実施する。

（２）要援護世帯の把握と各関係機関、団体との連携

① 各種世帯表の活用

独居老人世帯、老人夫婦世帯、その他要援護世帯等の世帯表を整備するとともに福祉サービス利用者等のマップを活用し緊急時、災害時及び情報提供等に利用。（平成２３年度作成）

② 各関係機関、団体との連携

在宅福祉サービスの提供機関として、医療・保健・福祉の総合的なサービスの連携、強化を図るとともに、民生委員、自治会、各種団体とのネットワークの構築、地域に存在する福祉ニーズの早期発見への協力を得る。

（３）地域福祉ネットワークづくり

① 自治会福祉部の設置

地域福祉活動の共同組織として、自治会福祉部設置を推進する。
設置自治会には、活動助成金を交付する。

② 小地域ネットワーク活動推進会議の開催

現在は自治会福祉部地域福祉会議として年１回開催。
自治会、関係機関等から要望等がある場合は随時情報提供していく。

（４）地域・在宅福祉情報の提供

平成２４年度より開設しておりますホームページ及び社協広報誌「ゆうなぎ」を発行し、情報の提供を行う。

（５）心配ごと相談所の運営

社協役職員・民生児童委員、自治会福祉部担当者等及び各関係機関との連携を図り、相談業務を行う。

（６）介護保険サービス事業等の実施

① 訪問介護・介護予防訪問介護事業

365日実施（但し、土・日・年末年始は訪問時間を制限。）

AM8:00~PM6:00（通常対応）AM6:00~AM8:00・PM6:00~PM11:00
（早朝・夜間対応）

※標記以外は緊急時とし、24時間対応体制の整備

② 通所介護・介護予防通所介護事業

月曜日から土曜日・祝祭日サービス実施（但し年末年始を除く。）

AM8:30~PM5:00（デイサービス AM9:30~PM3:30）

③ 訪問入浴介護事業

月曜日から金曜日・祝祭日サービス実施（但し、年末年始を除く。）

AM8:30~PM5:00（訪問入浴 AM9:00~PM3:00）

④ 居宅介護支援事業

要介護者が在宅サービス等を適切に利用できるように、心身の状況、環境、本人や家族の希望等を踏まえて、利用するサービス計画を作成するとともに、サービス提供確保のため事業者等と連絡調整を行う。介護保険施設入所が必要な場合は関連施設への紹介等を行う。

月曜日から金曜日実施（但し、年末年始を除く。） AM8:30~PM5:00

（７）障害福祉サービス(居宅)事業の実施

居宅介護・重度訪問介護

町内では唯一の実施機関であり、内容は介護保険事業内容と同様

365 日実施（但し、土・日・年末年始は訪問時間を制限。）

AM8:00~PM6:00（通常対応） AM6:00~ AM8:00・ PM6:00~PM11:00

（早朝・夜間対応）

※標記以外は緊急時とし、24時間対応体制の整備

※土・日・祝祭日及び早朝夜間等、社協事務局不在時等は転送による連絡体制とする。

（８）高齢者生活支援等サービス事業の実施（受託事業）

① 高齢者等の生活支援サービス

日常生活において支援を要する高齢者を対象に、身体状況、生活環境等を考慮して必要なサービスを提供いたします。

ア 配食サービス（給食サービス）

食事調理が困難な高齢者に対して、定期的に居宅を訪問し、栄養バランスの取れた食事を提供するとともに、当該利用者の健康状態及び安否確認を行う。（週2回実施する。）

イ 通院・外出等支援サービス

寝たきり、車椅子利用者、著しい歩行困難者及び人工透析患者の通院等の送迎を行う。（土・日祝祭日・年末年始以外の実施。）

但し、人工透析患者送迎において、土曜日往路のみ実施。

ウ 軽度生活支援サービス（ホームヘルプサービス）

軽易な日常生活上の援助を行うことにより、ひとり暮らし高齢者の自立した生活の継続を可能にするとともに要介護状態への進行を防止する。

但し、利用については週1回1時間程度とし、必要以上に過剰なサービス提供は行わない。

エ 電話サービス事業

緊急通報システム設置している高齢者に、ボランティアが電話にて安否確認を兼ねて様子伺いの声かけを実施。（月曜・火曜日利用）

② 高齢者電話サービス事業

緊急通報システム設置以外の高齢者・障害者等に電話サービス同様ボランティアが電話にて安否確認を行う。

緊急事態の早期発見、孤独死等の防止等大切な役割と多くの高齢者、障害者に利用していただくよう周知を図る。

(9) 地域福祉の拠点づくり

① 浦河町社会福祉会館の管理

社協、地域福祉団体、ボランティア団体等の地域福祉活動の拠点として、浦河町社会福祉会館の管理を行う。

(10) ボランティア活動の推進

1. ボランティア活動・ボラセンの運営

①ボラセン運営事業

- ・ 日常的業務

ボランティアコーディネーターを配置し、以下の業務を行う。

※ボランティアに関しての窓口対応、ボランティアニーズの把握、ボランティアネットワークの構築、ボラセンへの登録推進（個人・団体）ボランティア保険加入促進、日常的活動（給食・電話・施設訪問）の調整、エコマネーの推進及び管理、登録ボランティア（個人・団体）への各種案内、必要な支援等を行う他、下記の事業を実施する。

- ・ ボラセン運営部会の開催 年4回・ボランティア交流事業の実施 年1回
- ・ ふれあいお食事会の開催 年3回・作業交流会（おしゃべりサロン）の実施 年3回

②各種研修事業

- ・ 中高生福祉体験活動「夏休み期間中の開催」
- ・ ボランティア愛ランド北海道の参加
- ・ 各種ボランティア関係研修等への参加
- ・ 他市町村先進地視察

③ボランティア活動・市民活動団体推進啓発事業

- ・ 情報の提供（ボランティア情報誌等）
- ・ ボランティア協力校への助成 平成25年度～荻伏小学校
- ・ ボランティア団体・市民活動団体への助成

2. ボランティア団体・市民活動団体への側面的支援

- ・ 町内で活動中のボランティア団体や市民活動団体の活動の場として、社会福祉会館の利用を推奨及び必要に応じての支援を行う。

（「老人と共に歩む会」「子育てサポートバンビ」「マザー&キッズ」等）

(11) 住民参加型在宅福祉サービスの推進

高齢者生活支援団体「ポエム」の支援継続

日常生活において支援を要する高齢者等を対象に、在宅での自立した生活を可能にするため、生活支援団体「ポエム」の運営等について支援を行う。

(12) 託老事業「愛の会」の支援

浦河町老人と共に歩む会が実施する、託老事業「愛の会」の運営等について支援する。

- ・実施回数 月 1 回（第 3 土曜日）
- ・対象者 町内で暮らす認知症や障害を持つ 75 歳以上の高齢者

(13) 地域・在宅福祉サービスを担うマンパワー育成の協力・支援

地域・在宅福祉サービスに係わるマンパワーの育成

従来同様、日高地域人材開発センター主催のホームヘルパー講習（平成 25 年度より介護職員初任者講習）及び地元浦河高校（総合学科として福祉関連資格取得）への関係職員の派遣の他、当協議会各事業所での現場実習受け入れ等、必要に応じて地域のマンパワー育成の協力、支援する。

(14) 日常生活自立支援事業（旧地域福祉権利擁護事業）の実施（新規）

これまで、北海道地域福祉生活支援センターの事業であります日常生活自立支援事業（旧地域福祉権利擁護事業）につきましては、平成 26 年 4 月からその業務を各市町村社協に委託される事となり、当協議会においても現状の利用状況及び利用者の特殊性等を踏まえて、正式な事業の開始（受入れ）を平成 25 年 10 月 1 日に予定としており、事業開始に向けて体制の整備を図る。

(15) わかもの就労支援事業の実施

平成 24 年 4 月 1 日より町からの委託事業として本格的に事業開始。当初、浦河町内に在住するわかもの（当面 10 代）を対象としていたが、関係機関との連携において、20 代前半及び他町村在住（様似町）のわかものも対象にしながら事業展開している。事前情報としては日高東部地区（浦河・様似・えりも）だけでも潜在対象者は 30 名程度となっているとの事から、事業を周知するタイミングも非常に難しいものがある。

(16) 託児グループの支援

託児グループの運営等を側面支援する。

(17) 当協議会ホームページの開設

平成 24 年 4 月よりホームページ開設し、当協議会事業等の情報提供に役立てている。平成 24 年度は毎月 300 程のアクセスをいただいております、平成 25 年度においても、引き続き情報提供をしていきたい。

浦河町社会福祉協議会 <http://www.shakyo.or.jp/hp/148/>

(18) 自立と社会参加活動の推進

住民組織の福祉団体に対する事業支援・援助活動を行う。

※当協議会が事務局として支援している団体

老人クラブ連合会・老人と共に歩む会・身体障害者福祉協会・北海道共同
募金会浦河町共同募金委員会等

(19) その他の事業

- ① 赤い羽根共同募金運動への参画、協賛
- ② 生活福祉資金貸付事業
- ③ 母子・寡婦福祉資金貸付事業
- ④ 浦河町母子等福祉資金貸付事業
- ⑤ 日常生活用具（福祉機器）の無料貸出し
- ⑥ リサイクル事業（プルタブ・古切手等）